

## 会 議 録

1 会議の名称 第3回富士川町小中学校のあり方懇話会

2 会議日時 令和元年10月21日(月) 午後7時30分から  
午後8時40分まで

3 開催場所 富士川町教育委員会3階会議室

4 出席者数

- (1) 委 員 19名 欠席者:3名
- (2) 事務局 5名
- (3) 傍聴者 0名

5 議題

- (1) 本懇話会のこれまでの会議についての確認事項
- (2) 懇話会での質問事項について
- (3) 懇話会での意見について

6 会議資料の名称 別添のとおり

7 発言の内容

① 開会

② あいさつ

※山本会長よりあいさつ

③ 前回会議録について

※事務局より説明

※異議なし

④ 協議事項

(1) 本懇話会のこれまでの会議についての確認事項

※異議なし

(2) 懇話会での質問事項について

※異議なし

(3) 懇話会での意見について

委員：町の考えで適正配置に関することについては、1 学年 1 学級を下限とすることから、これを満たさない状況になったときに検討していくとあるが、仮に南小学校が 1 年生から 6 年生まで 1 人ずつについて合計で 6 人の場合と、1 年生が 0 人で 2 年生から 6 年生が各学年 3 人ずつについて合計で 15 人いた場合、教育委員会の考え方としたら 1 年生が 0 人であれば統廃合を検討していくという意味で良いのでしょうか。

事務局：前回の基本方針を策定した段階で 1 学年 1 学級を下限とするということで、学年に児童が 0 人となったときには統廃合ということを考えていかなければならないという基本方針を出しました。そうなる見込みとかそうなったらすぐに統廃合を決定するのかということではありませんが、基本的には子どもが生まれている人数はわかっていますので、学年に児童がいなくて 1 クラスができないような状況が続く見通しがあるようであれば検討をしていくという考えであります。

委員：入学児童 0 の場合、5 年先までは当然言えます。学校を残すという地域の考え方や、町の考え方、町の施策、基準は基準として仮にあったとしても町として少子化対策というのはとても必要なことであって、教育サイドの考え方というのが町づくりには大きく影響してくるのかなと、教育委員の考え方、教育委員会の考え方、やはり町づくりの提言というのがとても重要だと思うので、基準は基準で方針として持っていることは良いと思いますが、柔軟な考え方をする中で統廃合という問題を考えていってもらいたいと思います。

事務局：その部分につきましては重く受け止めて今後の方針案を出していきたいと思っております。

委員：富士川町でいろいろな事業をやっているようですが、富士川町しかやっていないという事業はありますか。

事務局：例えば学校給食費の補助金については、もう少し小さな規模の自治体であれば全額補助というようなことを行っているところもありますが、現状では富士川町は第 2 子半額、第 3 子以降は全額補助ということになっております。固定資産税相当額を 5 年間助成するという定住奨励金事業や中山間地域の住宅用地取得費の補助といったような事業は、他の自治体ではあまりないのかなと思っております。子ども医療費、出産祝い金、病後児保育、ファミサポというような事業は行っている自治体は多いかと思えます。

委員：定住奨励金や中山間地域等住宅用地費補助が他の自治体にはあまりないということですが、この事業があるから富士川町に来たというような実績はありますか。

事務局：追跡調査というようなことはしていませんが、これらの事業を活用している

人は相当数おります。

委員：懇話会のあり方として、いろいろな意見を聞いたというところで終わっていただきたい。意見に対する教育委員会からの回答を意見書には記載せず、今後学校や地区に説明をしていくときに同じような質問や意見が出るかもしれないので、そのときに丁寧に説明してもらいたい。その辺はぜひ慎重に取り扱っていただきたいです。

事務局：そういう形で行いたいと思います。

委員：意見や質問を出していただいた保護者にはどのように回答すればよいですか。

事務局：質問については、回答していただいて構いませんが、意見については、教育委員会へ上げていくという形になります。

委員：毎年、保育所連合会の運動会を町立のグラウンドでやっていたんですが、取り壊しになったということで今年度はニスカさんのグラウンドを使わせてもらって実施しました。そうした中で、新しい人工芝のグラウンドが整備されて、保護者からは来年からはそこのグラウンドでできるのかなと思っていたんですが、先生方から話を聞くとマーチングとかをするのに人工芝なのでポイントが打てなくて、あのグラウンドは使えない。来年度もあそこのグラウンドで運動会を開催するのは難しいということで先生たちも頭を悩ませているみたいです。そういうことを聞くとグラウンドを作る前段階でそこまでを想定して保育園の運動会でも使えるようにするというような検討はなかったのかなと疑問を感じました。今日のこの会でも子どもたちのためという言葉が何度も出てきたので、保育所の園児たちにとっては学校というのはすごく大事なことになるので、子どもたちのためにいろんなことを想定して基本方針を考えていってほしいなと思いました。

事務局：私も保育所の運動会には出させていただきましたが、ニスカさんのグラウンドは非常にコンパクトでちょうどいいような運動会になったなあと私的には感じたところであります。確かに新しくできたグラウンドは、サッカー、陸上を中心に完成したというところで、なかなか運動会というところまでは想定できてないのかなと思っております。おっしゃるとおり今後の基本方針の検討の際は幅広く配慮していきたいと思っております。

議長：ほかに何かございませんか。それでは協議事項は終わらしていただき、今後について事務局より説明をお願いします。

## ⑤ その他

※今後について事務局より説明。

## ⑥ 閉会

※齋藤副会長より閉会のあいさつ